

2008年3月入職

きくち さおり
菊池 紗織



選ばれたことは新しいスタート

自分を芯から突き動かした仕事

受験しなおそう。大学でたまたま臨床工学コースを受講したとき、私の中でピンと来るものがありました。もともとは別の学科に通っていたので、その講義に足を運んだのは本当に偶然。そこで一度学校を辞め、同じ学校の臨床工学コースを受験しようと思ったのです。結局は大学側のはからいで転入できたのですが、それくらい自分を芯から突き動かすものがありました。

透析を選んだのは、実習のときに何かひきつけられるものがあったからです。当時接客のアルバイトをしていて、人とコミュニケーションを取ることが好きになっていました。透析は患者さまと接する機会が多く、私の目にはとても魅力的に映りました。それはキャリアを重ねた今でも変わっていません。患者さまと世間話をする機会も多く、楽しい時間を過ごすこともあります。

仕事への心構えが変わった



エキスパート CE の存在は知ってはいましたが、詳しい内容までは知りませんでした。私が勤務する施設の所属ブロック内に対象者がいなかったため、きっかけがなかったのかもしれません。だから不安もあったのですが、自分の成長のためには新しいチャレンジが欠かせません。自分にはまだまだ足りないところがあると感じていたため、エキスパート CE を目指すことは良い刺激になると思いました。

事実、仕事に対する心構えにも変化があって、以前に比べて些細な出来事にも気を配るようになりました。たとえば患者さまがリモコンを落とす。こういった行動ひとつからも、患者さまの様子や状態を読み取るようになりました。いま思うと、それまでは自分中心で仕事をしてきたのだなと感じています。研修中に素敵な先輩と出会えたのも影響が大きく、自分もああいう人を目指したいと、前向きな気持ちになっているところです。ずっと参加を続けている勉強会にもより身を入れるようになりました。だから私にとってはここが新たなスタート。あのときにチャレンジしてよかったと思っています。



患者さまの変化を
一番に気付ける
CEになりたい。
菊池 紗織